

地域住民と移住者の橋渡しとなるフリーペーパー

8mater



巻頭特集

W インタビュー

地元 × 移住

U・I ターンを増やそう

連載コラム 空き家活用【前編】

“住めなくなった『空き家』が、実質0円で
『地方創生』に活用できる!?” 3つのコンセプト

FREE
ご自由にお取りください
¥0-

Bmater

INDEX

03

目次

W インタビュー

コーヒースタンド「Gardenia Coffee Stand & Roastery」
原西謙嘉さん

06-07

W インタビュー
ゲストハウス KARAI
賀来寿彦さん

09

連載コラム 空き家活用【前編】
『住めなくなった『空き家』が、実質0円で
『地方創生』に活用できる!?』3つのコンセプト

10-11

企画ページ 地元 & 移住
U ターン・I ターンを増やそう

12-13

MAP・クーポン【富士見エリア】

14

編集後記

冬号の表紙

冬の八ヶ岳を入笠山山頂から望む。
なだらかな裾野とその先に広がる
諏訪市町村を一望できる。脚に自信
のある方はアイゼン装備で山頂へ、
自信のない方もゴンドラを降りて
すぐの展望台をどうぞ。

Photo: 揚妻優希



ゲストハウス KARAI



富士見駅より徒歩30秒！築90年を超える古民家をリノベーション。
どこか懐かしい田舎宿、昭和の雰囲気が味わえます。



0266-63-1342

長野県諏訪郡富士見町富士見 4654-6
不定休
info@guest-house-karai.com
<https://www.guest-house-karai.com/>



◆宿泊(素泊まり)

1部屋個室	全日	特定日 (GW、お盆、年末年始)
1人	5,500円	6,500円
2人	4,500円	5,500円
3~4人	4,000円	4,500円
1棟貸し切り	1泊10名~14名 価格応相談	

- 全館フリー Wi-Fi
- シャワー室(シャンプー、コンディショナー、ボディソープ、ドライヤー付き)
- レンタルタオル
- ウェルカムコーヒー
- オーソリティートイレ

FREE Wi-Fi 館内無料でご利用できます。

P 駐車場は、駅前のコインパーキングをご利用ください。24時間1,200円



＼当店自慢のワッフルです♪/



■お食事ワッフル 990円(税込)
(ミニスープ付き)
塩麹に漬け込んだ自家製サラダチキンのせ。

■デザートワッフル 880円(税込)
季節の自家製フルーツ添え。
秋はりんごです。

suzunone cafe すずの音カフェ

120万本の日本すずらんが自生する入笠山湿原の麓
すずらんをイメージしたカフェをOPEN



Instagram



Facebook



〒399-0211
長野県諏訪郡富士見町富士見 6666-46
富士見パノラマリゾート駐車場近く

am9:00~pm3:30

季節に応じて時間変更有り
定休日 第三水曜日・毎週木曜日

<https://suzunone-cafe.com/>

初めてご入店される
カップルさんに
サービス!
甘酸っぱい
恋の味です♪

お洒落なグラスに入った
地元の特産
ルバーブシロップを使った
辛せドリンク♥

八ヶ岳ブルーソーダなど

■ソーダ各種 550円(税込)



■ドリンク各種・コーヒー
■すずらんのラテアート入りカフェラテ、ココアラテ各種



390円(税込)
500円(税込)

W インタビュー

記念すべき第1回目のインタビューは、6年前に八ヶ岳に移住された原西謙嘉さんと、地元八ヶ岳にリターンで戻られた賀来寿彦さんです。

心とからだに良い珈琲を、八ヶ岳から。



**コーヒースタンド「Gardenia Coffee Stand & Roastery」
原西謙嘉さん**

長野県諏訪郡富士見町富士見。ほとんど信号機もない、この町にCOFFEEとだけ書かれたシンプルなお店がある。このお店は、コーヒー豆の焙煎と販売のみというこだわりぬかれたスタイル。「本当に美味しい心とからだに良い珈琲を、多くの人に届けたい」という強い思いが詰まったコーヒースタンド「Gardenia Coffee Stand & Roastery」のオーナーが、原西謙嘉さんである。

**コーヒースタンド
原西謙嘉さん**

**コーヒースタンド
原西謙嘉さん**

心とからだに良い珈琲を、八ヶ岳から。

今でこそ八ヶ岳にすっかり馴染んでいる原西さんだが、元々の生まれば東京都墨田区。コーヒーの世界に飛び込む前、子どもなじみ深い場所ではあったのだそう。

八ヶ岳に来てすぐは植物関係の仕事に就きたいという縁があったことから、元々自身も幼少期の頃から夏になると遊びにきたという縁があったことから、元々のコーヒーを飲んだその日から、原西さんのコーヒーに没頭する日々が始まったのである。まさに人生を変えた一杯だったのだ。

それから、様々なメーカーがやっているセミナーに参加したり、通信で取れるような基礎的な資格の取得にも取り組み、自身で焙煎も行うようになった。

移住、そして念願の出店

2011年の東北大震災をきっかけに、元々東京を離れたいと思っていた原西さん



をしていたご縁で紹介してもらった場所に、念願のコーヒーショップを出店した。そして、2019年、植物関係の仕事をしていたご縁で紹介してもらった場所に、念願のコーヒーショップを出店した。

「コーヒースタンド」として伝えたい思い



原西さんがオープンしたお店の運営スタイルは、シンプルで洗練されている。扱っているのはスペシャルティーコーヒーと呼ばれ、世界の生産に占める割合3~4%と言われるほど希少性が高い豆のみ。それをハンドドリップで飲んでいただく。他にも卸と、ネット販売も行っているが、あくまでも地域や観光で来るお客様が気軽に立ち寄れるティクアウト専門のロースタリーというスタイルだ。さながらガソリンスタンドならぬコーヒースタンドである。原西さんはコーヒーを飲んで心身ともに癒され、「コーヒーってこんな効能があるのか」と感じた原体験と「心にもからだにも良い珈琲」を、このお店から地域の人々に届け続ける。



コーヒースタンド
「Gardenia Coffee Stand & Roastery」
〒399-0211
長野県諏訪郡富士見町富士見 3292
(休) 毎週月曜日、火曜日
(営) 11:00~17:30
<https://gardeniacoffee.jp/>

ふるさとのために、できること。

『ゲストハウスKARA』 賀来寿彦さん

ゲストハウス「KARAI」
からいとしひこ
賀来寿彦さん



現場を見たからこそ感じる変化と発想

富士見駅から歩くこと30秒。垂れ下がる淡い緑色の暖簾をくぐると、何とも懐かしい木造建築の空間が広がる。ここは、昨年末にオープンしたばかりの『ゲストハウスKARA』。宿泊だけでなく、コワーキングスペースとしても使用できる駅前ゲストハウスだ。ひとり旅からグループ、ビジネス利用まで気軽に利用できる施設となっている。

そんなステキなサービスを提供するのが、『ゲストハウスKARA』のオーナー・賀来寿彦さんである。

富士見駅から歩くこと30秒。垂れ下がる淡い緑色の暖簾をくぐると、何とも懐かしい木造建築の空間が広がる。ここは、昨年末にオープンしたばかりの『ゲストハウスKARA』。宿泊だけでなく、コワーキングスペースとしても使用できる駅前ゲストハウスだ。ひとり旅からグループ、ビジネス利用まで気軽に利用できる施設となっている。

そんなステキなサービスを提供するのが、『ゲストハウスKARA』のオーナー・賀来寿彦さんである。



自分のノウハウを使つた恩返し

都会への憧れもあり専門学校の2年間だけは東京で過ごしたが、「都会のビルの間や満員電車に疲れた」と再び地元へ戻り就職をした。「都会と違つて干渉されない。ホツとする時間ができた」と、田舎への恋しさを賀来さんは回顧する。

自分が話好きということもあり、会話が生まれてコミュニケーションができる空間づくりに重きを置いている。前職の時にも、「久しぶりだね」「娘さん大きくなつたね」と、常連さんとの深い交流関係を築いたのは、「人と話すことでその人にとっての気晴らしになつたら」という

賀来さんの信念があつたからだ。お客様と接客をしてきたからこそ得意なコミュニケーション能力を發揮し、「机にいるよりかは、お客様と話すことが仕事」と語るほどお好きであることが伝わる。実際『ゲストハウスKARA』の1Fリビングのコワーキングスペースは、他県から来た人や地元の人、外国人などの様々な人たちがコミュニケーションを取りれる場所となっている。そんな自分のノウハウを使って恩返しがしたいという想いが、こうして如実に出ているのである。

『ゲストハウスKARA』の3つのコンセプト

『ゲストハウスKARA』には、3つのコンセプトがある。

まず1つ目は『親戚が来たときに泊まれる場所』。昔のように人が大勢泊まれるほどの家が減少している今、親戚がいざ来るもののなら食事や寝床、風呂の支度などをしなければならない。泊まりに行く側も迎える側もお互いに気を遣わないために、来訪した親戚が泊まれる場所として『ゲストハウスKARA』を利用することができる。

続いて2つ目は『お見舞いに来た人が泊まれる場所』。富士見町は近隣の市町村の中で最も高齢化率が高いと言われている。病院や介護施設等も多く存在し、そこに

充実しているからこそ、やりたいことがある

賀来さんが、「全部自分でやらなければいけないけれども、やりがいはある」と語



ゲストハウス KARAI
〒399-0211
長野県諏訪郡富士見町富士見 4654-6
☎ 0266-63-1342 ⚡ 不定期
□ <https://guest-house-karai.com/>

として様々な業務に携わる中で、3年ほど前から団体旅行の減少と個人旅行の増加という変化を目の当たりにした。

そんな中、イベント等で関わっていくうちに「富士見駅の近くで旅館があると良いね」という話が出始める。宿泊施設の現場を経験している賀来さんは「今のままだと面白くない。変わつたことをしたい」と考え、リノベーションしたいという発想が浮かび始めた。その後、商工会からの紹介で物件を下見し、トントン拍子で話が進んでいったという。

オープン後まもなく、GOTOトラベルの停止、緊急事態宣言、新型コロナウイルス感染者の確認などの問題に直面する中で、新聞折り込みチラシや、地元や近隣の方限定に宿泊体験をしてもらうといった対応にも奮闘している。



自分のノウハウを使つた恩返し

都会への憧れもあり専門学校の2年間だけは東京で過ごしたが、「都会のビルの間や満員電車に疲れた」と再び地元へ戻り就職をした。「都会と違つて干渉されない。ホツとする時間ができた」と、田舎への恋しさを賀来さんは回顧する。

自分が話好きということもあり、会話が生まれてコミュニケーションができる空間づくりに重きを置いている。前職の時にも、「久しぶりだね」「娘さん大きくなつたね」と、常連さんとの深い交流関係を築いたのは、「人と話すことでその人にとっての気晴らしになつたら」という

賀来さんの信念があつたからだ。お客様と接客をしてきたからこそ得意なコミュニケーション能力を發揮し、「机にいるよりかは、お客様と話すことが仕事」と語るほどお好きであることが伝わる。実際『ゲストハウスKARA』の1Fリビングのコワーキングスペースは、他県から来た人や地元の人、外国人などの様々な人たちがコミュニケーションを取りれる場所となっている。そんな自分のノウハウを使って恩返しがしたいという想いが、こうして如実に出ているのである。

『ゲストハウスKARA』の3つのコンセプト

『ゲストハウスKARA』には、3つのコンセプトがある。

まず1つ目は『親戚が来たときに泊まれる場所』。昔のように人が大勢泊まれるほどの家が減少している今、親戚がいざ来るもののなら食事や寝床、風呂の支度などをしなければならない。泊まりに行く側も迎える側もお互いに気を遣わないために、来訪した親戚が泊まれる場所として『ゲストハウスKARA』を利用することである。

最後に3つ目は『観光客とビジネスマンが訪れる場所』。『遊べる場所はないか』「美味しいものが食べられる場所はないか」など、観光客やビジネスマンは当然知らないことが多い。

そんな時、情報を提供したり、地元の人とのコミュニケーションを取るために場所として、『ゲストハウスKARA』を利用できる。

前職では、企画やアイディアを出しても上司から止められたり、ゴリ押しで進めても失敗したこと也有った。しかし、「自分は現場が大好きなので、机に向かうよりも現場で忙しくするほうが充実している」と新しい人の関わりも持ちつつ、嬉しい忙しさの中で日々を過ごしている。今は、「あれもやらなきゃ、これもやらなきゃ、あれもしたい、これもしたい」と頭の中が走り回っているという。

現在のゲストハウスとは違い、カブセルホテルのようなテイストのゲストハウスもやってみたいという目標もある。現在富士見駅前は古い店舗が多く、機能していない建物が大半。今後空き店舗になるとそこが増えていくのではという不安要素もあるようだ。

寂しいシャッター街にしないために、もつと若い人と一緒に何かできないかという考え方の中で、「若い人たちにとつて魅力があり、帰つてきたいところにしたい」と宿泊のプロとして、今後も富士見のために賀来さんは邁進していく。

しかも今後は、団塊の世代を含めた高齢者が急激に増えていくことが予想される。それに伴って、空き家も加速度的に増えていくであろう。一説によれば、2033年には国内の空き家数は1,955万戸になるのではないかとまで言われている。近所に何軒も、誰も住んでおらず朽ち果てた家屋がある未来は、決して映画に出でくるようなディストピアではなく、差し迫つたりアルなのだ。

空き家問題。その問題が浮上して、久しい。空き家が発生する最も一般的な原因は、自宅を所有する高齢者が老人ホームなどの高齢者住宅や子供宅などに転居することにある。総務省が発表した最新の『住宅・土地統計調査』によれば、全国の空き家数は過去10年で89万戸増え、846万戸となっているのだ。



特に現状すでに深刻なのは八ヶ岳など地方の空き家である。地方の定住が難しいのは、利便性に難があるため、仕事そのためが都心部と比較して少ない。それに伴って仕事を求める現役世代は地方を離れてしまう。親世代が亡くなり、都心部へ

転居した子世代が相続したもの、借り手もつかない。人が住まなくなつた家屋は、傷みやすくなってしまうので、さらに借り手がつかなくなるという負の連鎖が起きているのだ。



大手が参入すれば、リノベーションすることもできるだろうが、地方の空き家をリノベーションするのでは利益率も低いうえ、借り手を見つけるには相応の障壁がある。参入には、確かな技術と人材、何より地方創生を単なるビジネスとしての観点だけでなく志がなければ無理なのである。

この現状に対する打開策として、Ito Business Office 合同会社（代表：伊藤詩織氏）が提唱するアプローチが『空き家再生事業』だ。



Ito Business Office 合同会社
代表：伊藤詩織氏

『地方創生』に活用できる!? 3つのコンセプト

RE 空き家

連載コラム 空き家再生事業【前編】

『住めなくなった『空き家』が、実質0円で、『地方創生』に活用できる!?



しかし、驚くべきことに、伊藤代表は「リノベーションに関する費用負担などもなく、実質0円」と語る。それでいて、自社の利益を確保しつつ、オーナー様には固定資産税を払える程度の不効所得は得られる可能性が高いとのこと。その仕組みを伺うと、伊藤社長の人脈とノウハウ、そして何より地方創生に対する思いが凝縮されていた。次号では、その驚くべきノウハウを語っていただく。

店主さま、事業主さまへ
こんなご希望がありましたら…

求人のアピールをしたい!
事業をいろんな人に知りたい!
新サービスをお知らせしたい!

フリーペーパーに出来ること!!

広告を掲載してみませんか?

お店や、新商品、新サービスの告知、求人募集など…

●お気軽に、ご相談ください!

お問い合わせ 8mater【広告制作事業部】
info@8mater.com

Gardenia

心からだに良い珈琲を…
スペシャルティーコーヒーの
色鮮やかフレーバーを
存分にお楽しみください。

■Drip Coffee 450yen～

コーヒースタンド
Gardenia Coffee Stand & Roastery
〒399-0211
長野県諏訪郡富士見町富士見 3292
休 毎週月曜日、火曜日
営 11:00～17:30
<https://gardeniacoffee.jp/>

Crafterior -YaiYai-
クラフテリア - やいやい -

Crafterior -YaiYai-は、アートやクラフトの拠点であり、気軽に「おーい」と立ち寄れるような場所になってほしいという願いを込めた、シェアハウスと宿泊とイベント&展示スペースを併せ持つ多角的でクリエイティブな複合空間です！

madorizu

1F 2F

フリースペース
居住スペース
ゲストルーム
イベント展示用スペース

シェアハウス 宿泊 イベント多目的スペース
入居者募集中

OPEN HOUSE

当 日 は
私がアテンダします♪

■内覧会
■ワークショップ
■アートの展示会など

お気軽に遊びに来てくださいね♥

内覧イベント | 2022年3/19【土】.20【日】.21【月祝】
10:00～17:00 ※21日は10:00～15:00まで
【駐車場のご案内】イベント期間中、お車でお越しの際は綿半ホームエイド富士見店にお止めください。
※道路脇にフェンス側の駐車場にご駐車くださいますようお願いします。

アクセス
JR富士見駅より西に徒歩10分
〒399-0211
長野県諏訪郡富士見町富士見 3210-22

お問合せ
担当：伊藤
☎ 050-5435-9874
✉ info@ibo-akiyakatsuyou.net

地図



ターン



ターンを増やそう

コロナがもたらした、 都会からの離脱



『Uターン』同様、生活コストの安さもありますが、住居を低価格で提供する自治体の存在により、フリーランスや起業支援する環境が整っていることも大きな特徴です。

『東京一極集中』という言葉をご存知でしょうか?これは、日本において政治や経済、文化、人口など、社会における資本・資源・活動が東京都区部あるいは南関東に集中している状況を表しています。東京都の年間の転出入数は1997年以来一貫して地方からの人口流入による転入超過を続けてきましたが、昨今のコロナ禍によりその状況は大きく変わろうとしています。東京都『住民基本台帳による世帯と人口』により作成した統計を見ると、一目瞭然。新型コロナウイルス感染症が日本に影響をもたらした2020年4月を境に減少の一途をたどっていることが分かります。また、総務省『住民基本台帳人口移動報告』により作成した統計を見ても、コロナ禍による差は明らかです。埼玉、千葉、神奈川、愛知、大阪の前年度比は軽微でありますが、東京においては前年の10分の1。他の都市と比べて、大きな差が開きました。

企業における在宅勤務やビジネスにおけるリモートワークの発展、住宅コストが高い都心部への転居を考える必要性がなくなったという点から、都会への人口流入は今後も減少していくことが考えられます。



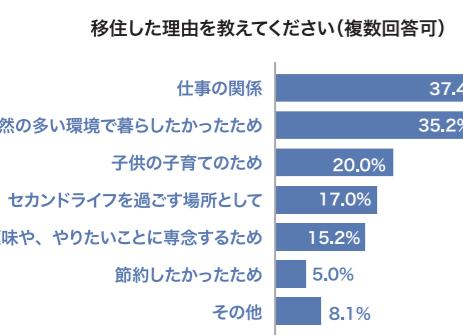
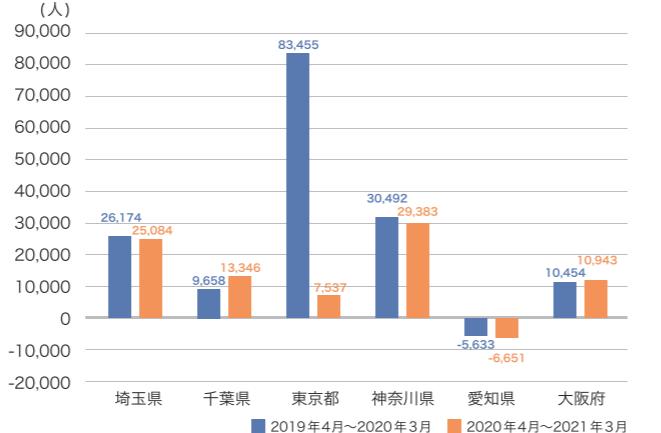
それぞれのメリットを考える



『リターン』『一ターン』についての基礎を整理してみましょう。そもそも『リターン』とは、地方で生まれ育った人が都会で就職して働き、その後また生まれた地方へ戻つてくる言葉を指します。そして『一ターン』とは、都会で生まれ育った人が地方へ就職・転職することを言います。

『リターン』のメリットは、都会と比べて時間的にも経済的にもゆとりのある暮らしができることです。生活コストも安く、元々知っている土地に戻つてくることから生活に馴染みやすいのも特徴です。知らない土地に行くわけではないので、生活環境面でのストレスは少ないでしょう。

『一ターン』のメリットは、都會で生まれ育った人にとって都會では経験できないことができるのです。

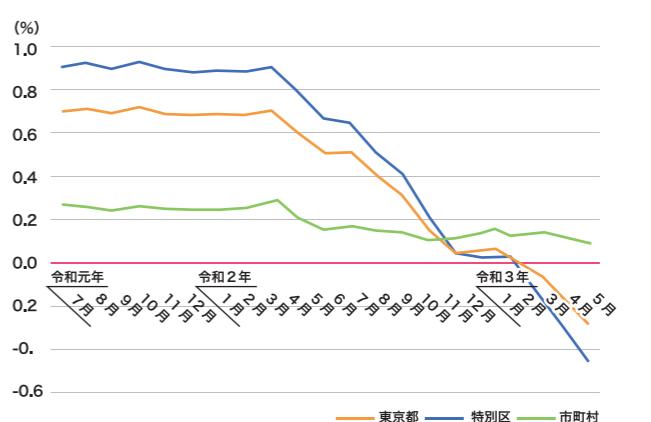


長野県のハウスメーカー『ホクシンハウス』が都市部から地方へ移住し、戸建を購入した方1,103人を対象に移住した理由についてアンケートを行いました。

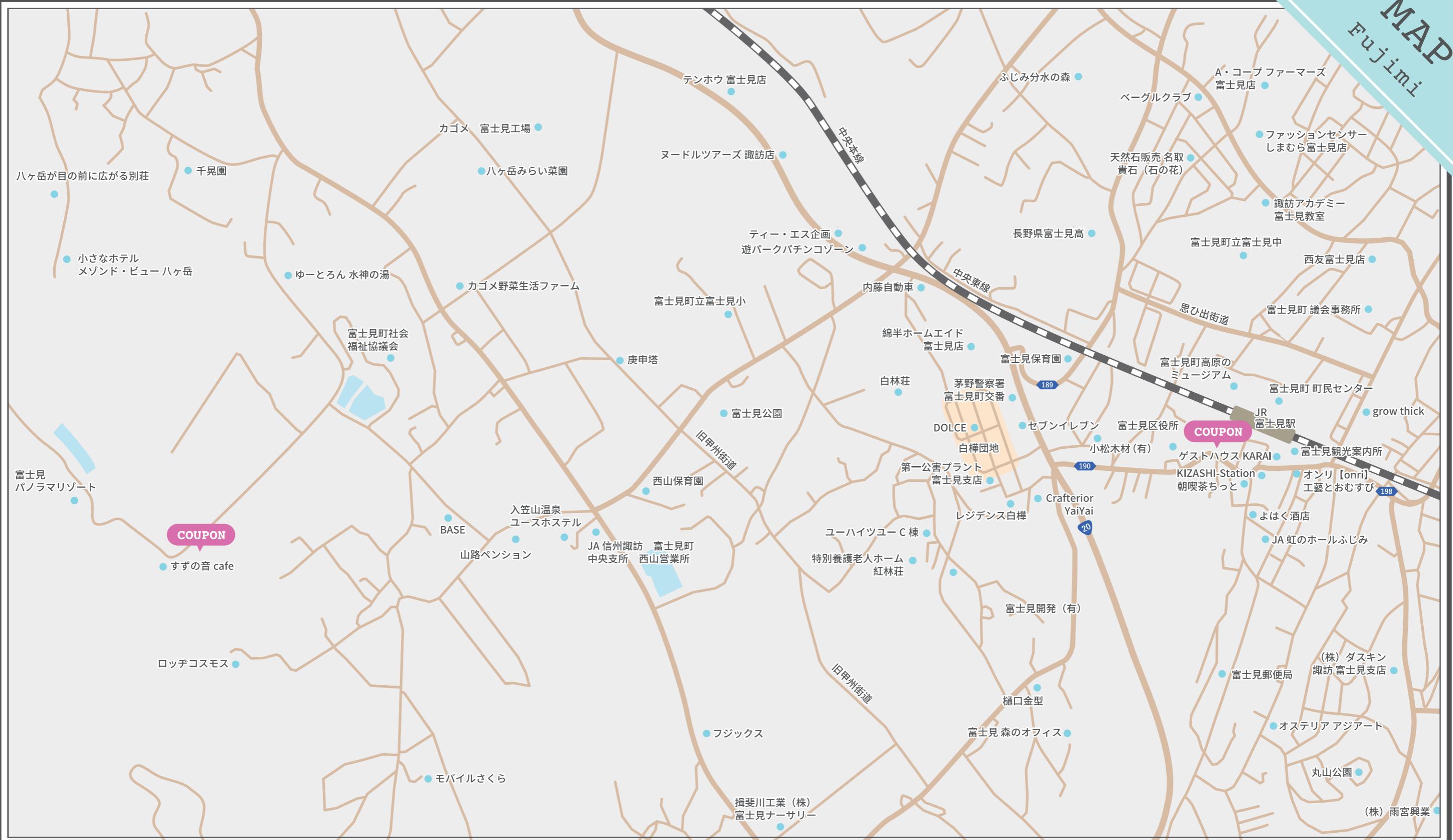
集計結果として、【1位】仕事の関係(37.4%)、【2位】自然の多い環境で暮らしたかったため(35.2%)、【3位】子どもの子育てのため(20.0%)、【4位】セカンドライフを過ごす場所として(17.0%)、【5位】趣味ややりたい事に専念するため(15.2%)となりました。

仕事による転勤や転職で移住したケースと同じくらい、自然の多い環境に魅力を感じて移住をしたケースも多いということが見受けられます。地方移住をして実際に感じる魅力としては、自然豊かで空気がきれい、家賃や食費が安い、移住者への支援が手厚い、周りが静かで住みやすい、という点が多いです。

都会の喧騒から離れ、QOL(クオリティオブライフ)・生活の質の向上を目的として、自然あふれる知らない土地や原風景のある故郷で暮らしていくことも良いことかもしれません。



MAP Fujimi

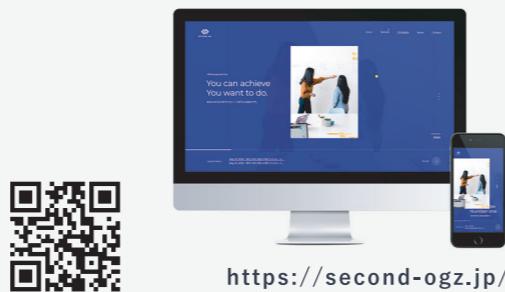
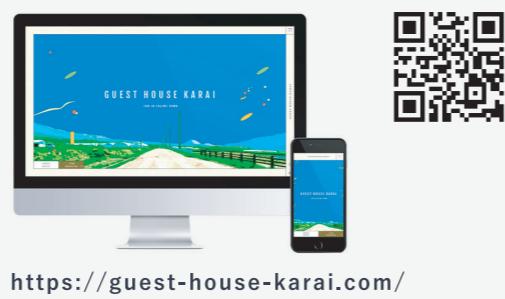




WEB制作事業 / 広告制作事業

ロゴ・名刺・WEBデザイン・チラシ
パンフレット・フリーペーパーetc.

制作実績 / WEB



PRIMAL AGENT 株式会社プライマルエージェント

〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須一丁目7番14号 パークIMビル2F
MAIL/info@primalagent.com



パンフレット、ブログ記事、文章作成・執筆 シンプルでわかりやすく興味を惹くライティング

「言葉」「文章」は古来から人に何かを伝える時に用いられてきた身近にある中でもっとも歴史が古いものです。

そしてこの「言葉」や「文章」はパンフレット、チラシ、WEBサイト、キャッチコピー……様々なものに使われ、人と人がコミュニケーションをとるためにはなくてはならないものです。日々の暮らしの中での「文字」に触れない日はないでしょう。そんな「言葉」や「文章」は誰でも使うのですが、いざ文章を使って表現しようとするととても難しいです。

オフィスリバインでは、そんな文章作成・執筆に関わるお悩みを解決するお手伝いをしています。
紙媒体、WEB媒体、企画などをはじめ文章作成でお悩みの方は、ぜひオフィスリバインにご相談ください。
シンプルでわかりやすく心に自然と入り込む文章をお届けします。



オフィスリバイン

愛知県西尾市一色町松木島中切105番地16
□ 090-4440-9207
✉ info@office-river-in.jp
□ https://office-river-in.jp



8materの企画運営を統括しております榎原です。10代の頃から訪れていた諏訪・八ヶ岳エリアで当フリーぺーパーを創刊できることを嬉しく思っております。紙(フリーペーパー)・WEB(地域密着サイト)・居住施設(空き家活用)連動のこの企画を通して地元の方と関係を深めさせていただきながら移住者の方との間に立ち、人繋ぎ役になるようなフリーぺーパーにしていきたいと思っております。

榎原
【代表】



八ヶ岳移住組のあげっちです。ライダーにとって八ヶ岳は天国です。サーファーが浜辺に移住するように、スキーヤーが北海道に移住するように、ライダーは八ヶ岳に住むべきです。仕事終わりにビーナスライン



揚妻
【カメラマン / 物件チーム】

デジタル社会と言われている今でも、情報を仕入れるツールとして紙媒体は使われています。あえてアナログで発信することで、逆にネットに広がっていない情報を入手することができることがフリーぺーパーの魅力であり特徴だと思います。八ヶ岳という地域に根付いた情報満載の『8mater』を、ぜひ隅から隅までご覧いただけたら嬉しいです。



川内
【広告制作チーム】

ホームページ担当の夏目です。八ヶ岳は自然だけでなく住んでいる人も魅力的なんです!



夏目
【Web制作チーム】

ホームページを担当している浅川です! 小さい頃から八ヶ岳エリアに旅行に行っており、小学生の頃の夏の思い出です! そんな八ヶ岳を特集したコンテンツに関わらせて頂いて嬉しく思います! 八ヶ岳の良いところをデジタルで表現をどんどんします。



浅川
【Web制作チーム】

デザインを担当している間野です。遂に8materのフリーぺーパーが始まります! 出来立てはやほやですが、みなさまと共に成長していきたいと思っております。どうぞ温かくお見守りください~。締切を無事に終えて、八ヶ岳の雪化粧を眺めながら大自然の中の温泉でまったりとしたいです!



間野
【広告制作チーム】

冬は温かい食べ物が美味しい季節ですね! 8materの食欲担当、伊藤です(笑)ということで、私は八ヶ岳に足繁く通うようになって富士見駅の駅そばに大ハマリ! 私の胃袋も大満足のボリューム、トッピングの豊富さ! そして何より安い!! 遠征の楽しみです♪ 八ヶ岳エリアは本当に食には困りませんね! こだわりのお店がたくさん♪ 旅の楽しみといえば食! 今後も美味しいお店、隠れた名店開拓していきます!

伊藤
【物件チーム】

空き家活用の修繕計画担当の堀場です。気さくで温かな人が魅力の八ヶ岳。住宅に関するお悩みごとやお困りごとをなどを通じて八ヶ岳の皆様に貢献出来たらと思います。

堀場
【物件チーム】

八ヶ岳で事業をされている方々からお聞きした話をまとめて、気づいたことがあります! 八ヶ岳、観光だけではない魅力に溢れているなあと凄く思いました!

これからも編集部として、さらにさらに八ヶ岳の魅力を掘り出しをお伝えし続けていきます。

松井
【広告制作チーム】

ゆる担当の「やつこ」です~。みんなのやつこになりたいです~! よろしくおねがいしますにゃ。たい焼きが好きにや♪ このフリーぺーパーのどこかにこっそりいるので見つけてくださいにゃ!

やつこ
【ゆる担当】

発行日 2022年2月吉日

制作 8mater

発行人 株式会社プライマルエージェント

編集長 川内

ライター 川内 / 松井

カメラマン 揚妻

デザイナー 間野

編集 榎原 / 川内 / 松井

物件チーム 伊藤 / 堀場 / 揚妻

営業チーム 榎原 / 森川 / 松井 / .bizメンバー

Webチーム 夏目 / 浅川

八ヶ岳情報発信ポータルサイト

8mater

8materとは

地域情報、移住、空き家活用、クリエイティブ活動まで幅広く包括したコミュニティです。

個々の得意分野を活かし、地方と都市を結び、無限∞の創造の可能性を八ヶ岳から発信！！

八ヶ岳の地方創生を応援しています。



地域情報サイト / WEB



フリーぺーぺー / 紙媒体



空き家リノベーション / 家

地方創生

可能性

移住

空き家活用

クリエイティブ

ハチメーター 8materのプラン



クリエイター



ポータルサイト
8mater



八ヶ岳

- ・イベント企画
- ・地域情報
- ・作品情報
- ・イベント情報
- ・地方観光
- ・作品閲覧



8mater 検索

